

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月14日

上場取引所 大

上場会社名 いちごグループホールディングス株式会社

コード番号 2337 URL <http://www.ichigo-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役会長 (氏名) スコット キャロン

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役管理部門責任者 (氏名) 石原 実

TEL 03-3502-4818

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	7,111	△53.9	685	41.9	1,061	695.2	2,341	100.2
22年2月期第2四半期	15,426	—	482	—	133	—	1,169	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	1,316.00	1,002.09
22年2月期第2四半期	1,256.79	500.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	104,107	27,648	23.3	13,462.40
22年2月期	100,268	23,523	20.4	11,711.48

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 24,301百万円 22年2月期 20,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

※ 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めております。現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△34.6	1,000	△9.7	1,000	74.5	2,300	27.3	1,283.51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

※ 1株当たり当期純利益につきましては、当第2四半期連結会計期間末時点における発行済株式総数が当連結会計年度末まで変動しなかったものとみなして計算した期中平均株式数に基づいて算出しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 1,805,353株 22年2月期 1,750,275株
② 期末自己株式数 23年2月期2Q 240株 22年2月期 240株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 1,779,037株 22年2月期2Q 930,318株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.4「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考)

平成23年2月期の個別業績予想（平成22年3月1日～平成23年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,800	3.8	2,400	—	2,100	—	2,200	△2.8	1,227 70

(注)当四半期における個別業績予想の修正有無 :有

詳細は、(添付資料) P.4「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(第2四半期連結累計期間)	8
(第2四半期連結会計期間)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) その他注記情報	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期決算短信提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(重要な会計方針及び見積り)

当社の四半期連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づき作成されております。

当社は、この四半期連結財務諸表の作成にあたって、有価証券の減損、減価償却資産の耐用年数の設定、税効果会計等に関して、過去の実績や当該取引の状況に応じて、合理的と考えられる見積り及び判断を行い、その結果を資産・負債や収益・費用の金額に反映して四半期連結財務諸表を作成しておりますが、実際の結果は見積りによる不確実性があるため、これらの見積りと異なる場合があります。

①業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国の経済環境は、アメリカ、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響等の下押しリスクを抱えながらも着実に改善してきており、企業収益も海外経済の改善や各種の政策効果等を背景に改善してきております。

当社グループの属する不動産業界を取り巻く環境も、金融機関の融資姿勢の更なる改善、REIT合併等に伴う物件の流動性向上、REIT市場の活発化、海外投資家の不動産投資ニーズの顕在化等から、改善の兆しを見せております。

当社グループは、このような環境変化を成長の好機と捉え、更なる企業安定性向上へ向け、財務体質の一層の改善、並びに収益拡大のための積極的な営業活動を行ってまいりました。具体的には主として以下の事項を実施いたしております。

- ・新規ファンド組成に向けた積極的な営業活動及び具体的案件の検討、推進
- ・外部成長としての戦略的M&Aに向けた具体的検討
- ・レスキューAMの獲得に向けた営業活動推進
- ・運用ファンドのリファイナンス
- ・子会社との業務シナジーの追求
- ・CRE（企業不動産）事業における既存契約先に対する具体的提案の提示、実行
- ・資産売却の推進及び負債の圧縮
- ・コーポレート短期有利子負債の長期借換の進展
- ・徹底的なコスト削減及び更なる経営効率の向上に向けた取り組み

この結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高3,006百万円（前年同四半期比55.2%減）となり、営業利益182百万円（同0.6%増）、経常利益634百万円（前年同四半期は経常利益15百万円）、四半期純利益299百万円（前年同四半期比68.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,111百万円（前年同四半期比53.9%減）となり、営業利益685百万円（同41.9%増）、経常利益1,061百万円（同695.2%増）、四半期純利益2,341百万円（同100.2%増）となりました。

②経営成績の分析

(売上高)

当第2四半期連結会計期間における連結売上高は3,006百万円（前年同四半期比55.2%減）となりました。

これは主に、不動産賃貸収入1,341百万円、不動産販売収入863百万円、施設管理受託収入395百万円及び営業投資有価証券等売却収入203百万円によるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は7,111百万円（前年同四半期比53.9%減）となりました。

(営業利益)

当第2四半期連結会計期間における営業利益は182百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

これは主に、不動産の売却及び賃貸に係る売上原価が1,794百万円となったこと並びに販売費及び一般管理費が717百万円となったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業利益は685百万円（前年同四半期比41.9%増）となりました。

(営業外損益)

当第2四半期連結会計期間における営業外収益は545百万円（前年同四半期比364.3%増）となりました。これは主に、持分法による投資利益495百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業外収益は581百万円（前年同四半期比195.8%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間における営業外費用は92百万円（前年同四半期比67.2%減）となりました。これは主に、支払利息89百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業外費用は205百万円（前年同四半期比62.4%減）となりました。

(特別損益)

当第2四半期連結会計期間における特別利益は45百万円（前年同四半期比96.0%減）となりました。

これは主に、関係会社株式売却益16百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における特別利益は2,383百万円（前年同四半期比85.1%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間における特別損失は139百万円（前年同四半期比75.3%減）となりました。

これは主に、事業清算損失125百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における特別損失は154百万円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

(四半期純利益)

当第2四半期連結会計期間における法人税等合計は7百万円、少数株主利益は233百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間における四半期純利益は299百万円（前年同四半期比68.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は2,341百万円（前年同四半期比100.2%増）となりました。

平成23年2月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年2月期第1四半期決算短信（平成22年7月14日開示）をご参照ください。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、12,741百万円となり、当第1四半期連結会計期間末の13,036百万円と比して294百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローとそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において営業活動により得られた資金は2,201百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益541百万円の計上、販売用不動産の減少680百万円及び未収入金の減少310百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は2,732百万円（前年同四半期比63.9%減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において投資活動により得られた資金は122百万円（前年同四半期比92.2%減）となりました。

これは主に、貸付金回収による収入254百万円、定期預金の払い戻しによる収入251百万円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出437百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は1,771百万円（前年同四半期は77百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において財務活動により使用した資金は2,359百万円（前年同四半期比49.7%減）となりました。

これは主に、ノンリコース社債の償還による支出848百万円、ノンリコースローンの返済による支出593百万円及び長期借入金の返済による支出561百万円があったことによるものであります。

なお、当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は2,302百万円（前年同四半期比71.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は104,107百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,838百万円増加(前連結会計年度末比3.8%増)いたしました。

これは主に、投資有価証券の売却及び新規連結等による現金及び預金の増加2,114百万円、投資有価証券の増加2,314百万円及び営業投資有価証券の減少902百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は76,459百万円となり、前連結会計年度末と比較して286百万円減少(前連結会計年度末比0.4%減)いたしました。

これは主に、新規連結に伴うノンリコースローンの増加3,584百万円があったものの、ノンリコース社債の減少842百万円があったこと、長期借入金の減少2,431百万円があったこと及び新株予約権付社債の転換等による減少450百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は27,648百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,124百万円増加(前連結会計年度末比17.5%増)いたしました。

これは主に、四半期純利益の計上等による株主資本の増加2,781百万円があったこと及び評価・換算差額等の増加1,024百万円があったことによるものであります。なお、自己資本比率は23.3%(前連結会計年度末比2.9ポイント上昇)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(連結業績予想)

平成22年5月26日に公表いたしました通期連結業績予想から修正は行っておりません。

(個別業績予想)

平成22年10月14日開催の取締役会において、平成22年4月19日に発表いたしました通期個別業績予想を修正することを決議いたしました。

内容につきましては、平成22年10月14日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

当第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,842	10,728
受取手形及び売掛金	441	344
営業貸付金	1,183	737
営業投資有価証券	8,501	9,404
販売用不動産	69,689	69,445
短期貸付金	655	766
その他	1,279	2,074
貸倒引当金	△4,660	△4,604
流動資産合計	89,933	88,897
固定資産		
有形固定資産	3,232	3,201
無形固定資産		
のれん	795	—
その他	42	28
無形固定資産合計	837	28
投資その他の資産		
投資有価証券	9,512	7,197
長期貸付金	14	217
その他	708	730
貸倒引当金	△131	△6
投資その他の資産合計	10,103	8,139
固定資産合計	14,173	11,369
繰延資産	—	1
資産合計	104,107	100,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45	5
短期借入金	3,535	3,602
1年内償還予定の社債	2,150	1,150
1年内償還予定のノンリコース社債	30	857
1年内返済予定の長期借入金	2,857	6,822
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	26,573	33,748
未払法人税等	40	74
賞与引当金	125	4
その他	2,803	3,612
流動負債合計	38,160	49,877

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
固定負債		
社債	200	400
新株予約権付社債	4,340	4,790
ノンリコース社債	965	980
長期借入金	3,201	1,668
長期ノンリコースローン	25,827	15,067
長期預り保証金	3,238	3,375
負ののれん	496	541
その他	30	45
固定負債合計	38,298	26,867
負債合計	76,459	76,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,908	23,138
資本剰余金	277	4,055
利益剰余金	7,327	△6,461
自己株式	△36	△36
株主資本合計	23,476	20,695
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,315	1,252
為替換算調整勘定	△1,490	△1,452
評価・換算差額等合計	824	△200
新株予約権	59	32
少数株主持分	3,287	2,995
純資産合計	27,648	23,523
負債純資産合計	104,107	100,268

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	15,426	7,111
売上原価	13,342	5,124
売上総利益	2,084	1,986
販売費及び一般管理費	1,601	1,301
営業利益	482	685
営業外収益		
受取利息	45	23
受取配当金	18	3
持分法による投資利益	—	478
負ののれん償却額	43	45
その他	89	31
営業外収益合計	196	581
営業外費用		
支払利息	268	184
持分法による投資損失	115	—
為替差損	141	—
その他	19	20
営業外費用合計	546	205
経常利益	133	1,061
特別利益		
投資有価証券売却益	1,043	—
関係会社株式売却益	—	2,344
その他	244	38
特別利益合計	1,288	2,383
特別損失		
事業清算損失	161	125
組織再構築関連損失	331	—
その他	101	28
特別損失合計	594	154
税金等調整前四半期純利益	826	3,290
法人税、住民税及び事業税	40	12
法人税等調整額	59	—
法人税等合計	100	12
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△443	936
四半期純利益	1,169	2,341

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	6,704	3,006
売上原価	5,794	2,107
売上総利益	909	899
販売費及び一般管理費	728	717
営業利益	181	182
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	18	1
持分法による投資利益	—	495
負ののれん償却額	22	22
その他	60	15
営業外収益合計	117	545
営業外費用		
支払利息	122	89
持分法による投資損失	49	—
為替差損	110	—
その他	—	3
営業外費用合計	282	92
経常利益	15	634
特別利益		
投資有価証券売却益	1,004	—
関係会社株式売却益	—	16
その他	132	29
特別利益合計	1,136	45
特別損失		
事業清算損失	161	125
組織再構築関連損失	331	—
その他	70	13
特別損失合計	563	139
税金等調整前四半期純利益	589	541
法人税、住民税及び事業税	△8	7
法人税等調整額	0	—
法人税等合計	△7	7
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△363	233
四半期純利益	959	299

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	826	3,290
減価償却費	97	69
株式報酬費用	—	27
のれん償却額	—	20
負ののれん償却額	△43	△45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	95
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	290	181
受取利息及び受取配当金	△64	△26
支払利息	268	184
為替差損益 (△は益)	46	5
持分法による投資損益 (△は益)	115	△478
関係会社株式売却損益 (△は益)	△36	△2,344
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,043	—
固定資産除売却損益 (△は益)	2	11
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△5	82
営業貸付金の増減額 (△は増加)	—	△95
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	4,025	183
営業投資有価証券評価損	376	65
販売用不動産の増減額 (△は増加)	3,704	1,838
販売用不動産評価損	1,086	14
未収入金の増減額 (△は増加)	—	310
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6	—
未払金の増減額 (△は減少)	△740	269
未払費用の増減額 (△は減少)	△74	△618
預り保証金の増減額 (△は減少)	△305	△372
社債償還損益 (△は益)	△50	—
その他	△649	286
小計	7,827	2,957
利息及び配当金の受取額	64	26
利息の支払額	△268	△169
法人税等の支払額	△58	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,565	2,732

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△279	△352
定期預金の払戻による収入	—	291
投資有価証券の取得による支出	△83	—
投資有価証券の売却による収入	1,215	—
関係会社株式の売却による収入	40	2,499
有形固定資産の取得による支出	△5	△15
有形固定資産の売却による収入	9	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,016
貸付けによる支出	△2,191	△30
貸付金の回収による収入	650	344
その他	567	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	1,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,780	△62
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△2,637	△1,296
ノンリコースローンの借入による収入	1,800	3,500
ノンリコースローンの返済による支出	△1,613	△4,289
社債の発行による収入	—	1,900
社債の償還による支出	△234	△1,300
新株予約権付社債の償還による支出	△50	—
ノンリコース社債の償還による支出	△1,900	△863
配当金の支払額	△2	△0
少数株主への配当金の支払額	△211	△129
少数株主への払戻による支出	△549	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,180	△2,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	△130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△806	2,070
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,656	△57
現金及び現金同等物の期首残高	18,098	10,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,635	12,741

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、2012年3月17日満期円貨建転換社債型新株予約権付社債（旧2011年3月18日満期円貨建転換社債型新株予約権付社債）の転換権が行使され、発行済株式が55,078株、資本金及び資本剰余金が225百万円ずつ増加しております。

当社は、平成22年5月29日付で、資本金7,454百万円及び資本準備金4,055百万円をそれぞれその他資本剰余金に振り替えております。また同日付で、その他資本剰余金のうち11,457百万円を繰越利益剰余金に振り替えております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が15,908百万円、資本剰余金が277百万円となっております。

(6) その他注記情報

(連結納税制度の適用)

当社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。